

青年の父

やまもとたきのすけ あしあと たす

山本瀧之助の足跡を訪ねて

【4】23歳で「田舎青年」の自費出版

「田舎青年」の原稿を書き上げたものの、出版社や出版費のあてがなかった。近くに住む漢学の岡崎朝一先生に原稿を渡し出版のめどを付けてもらうことにした。瀧之助日記1896年(明治29年)2月7日に、朝一先生から出版の見通しがついた事を伝える便りを手にし「余り嬉シクテ弁当ヲ忘ル 手紙ヲ繕クコト四度ナリ」とその喜びを記している。

当時の風潮は、都会に住む学生・書生が「青年」であり、田舎に住む若者は「青年」の概念の外におかれていた。「田舎青年」の冒頭の文章で「均しく是れ青年なり」とその誤りを指摘、田舎青年を救うには、「青年会を設くべし。青年相集いて一つの団結を作り、相互に注意・忠告・連携・精研すべし」と説き、さらに全国青年会連合の設立を提案している。

出版したものの売れ行きは悪く、借金が残り、書評も良くなかった。ただ、当時、最も権威があり第一流の新聞である「日本」の記者、五百木良三は、直言で田舎青年の無気力を叱っているが「近代の活気なきは、独り田舎青年のみではなく、中央青年においても同じである。一読に価する本である。」と好意的な評を書き、励ましの手紙を届けてくれた。次号に続く

執筆：上田靖士(山本瀧之助研究会会員)



南部こんなんやるDay



なんぶかんない こうざ あんない
南部管内の講座のご案内です。みなさま どうぞ ご参加ください。

とも 輶コミュニティセンター

982-1882

ひ とも こうれいしゃこうりゅうじぎょう 陽だまりいっしゅ(高齢者交流事業)

まいつきだい すいようび こうれいしゃ こうりゅう もくてき かいさい
毎月第2水曜日に高齢者の交流を目的に開催しています。10月は理学療法士さんの楽しいお話です。

とき 10月12日(水)10:00~

ない よう かわい かわい うんどうきのう ちゅうしん
内容 加齢を華麗に~運動機能を中心に~

こう し もりた ゆうじ りがくりょうほうし はなし
講師 森田 祐治さん(理学療法士)



ぬまくまとしよかん 沼隈図書館だより 987-5630

はじ よ き 初めての「読み聞かせ」

~ステップアップ編~ (連続講座)

とき 第1回 ものがたりと科学絵本

10月19日(水)10:30~

第2回 語りとブックトーク

10月26日(水)10:30~

定員 20人 両日とも参加できる方

子どもの本に興味のある方

申込み 10月3日(月)10:00~

(来館か電話で)

ト・まち・ふくしフェスタ2011 @うつみ・ぬまくま

とき 11月13日(日)9:30~

ところ ぬまくま ふくしかいかん ぬまくましよちゅうしゃじょう
沼隈サンパル・福祉会館・沼隈支所駐車場

ない よう ひばく
内容 被爆ピアノコンサート

ひがしにほんだいいんさいかんれん
東日本大震災関連コーナー

わ じまがつかくじょうほうはっしん ほか
我がまち自慢学区情報発信コーナー 他

きょうさんじぎょう 協賛事業
やまもとたきのすけぼつ しゅうねんきねんぎょうじ
山本瀧之助没80周年記念行事

きねんこうえんかい しょどうさくひんでん とくべつつかかくてん
記念講演会・書道作品展・特別企画展

ポ〜ノさんのささやき

インターネットの普及により、私たちの生活は便利になりました。しかし、他人への誹謗・中傷を掲示板に投稿したり、個人のプライバシーに関わる情報を掲載するなど、人権侵害につながるような行為が多発しています。インターネットに掲載された情報は簡単に複製でき、他の場所に転載されるなどしてまたたく間に広がってしまいます。インターネット上では、匿名で情報を発信することができます。だからといってこのような無責任な行為は許されません。インターネットをどう使うか、使う人の人権感覚が問われています。



しかくしょう とう りゆう ひと えいりもくてき のぞ ろくおん てんじ かくだい みと
視覚障がい等の理由がある人のために、営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。